

## 未来社会創造事業 探索加速型探索研究

### 事後評価結果

#### 1. 領域

「超スマート社会の実現」領域

#### 2. 重点公募テーマ

多種・多様なコンポーネントを連携・協調させ、新たなサービスの創生を可能とするサービスプラットフォームの構築

#### 3. 研究開発課題名

機械・人間知とサイバー・物理世界の漸進融合プラットフォーム

#### 4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

田野 俊一(電気通信大学 大学院情報理工学研究科 教授)

#### 5. 評価結果

本研究開発課題の目的とする、超スマート社会(Society5.0)の実現を目指したプラットフォーム構築は、重点公募テーマの主旨にも合致しており、探索研究の延長期間含めて技術的な進展や実証フィールドの絞り込みなど、着実に研究が進められた。複数のシステム・サービスが連携し進化を続け、多岐にわたって役立つプラットフォームが実現すれば、社会的なインパクトも大きい。また、高齢問題の解決を目指す研究提案として東京都の「大学研究者による事業提案制度」に採択されるなど本研究の発展が期待できる。

一方で、POC が概念レベルに留まり、実現しようとするサービス像や実現に向けた技術課題が十分には整理されていなかった。個別のサービス・システムの高度化だけでなく、連携の必要性や連携により生まれる相乗効果について、より説得力のある説明が求められる。

以上の結果、本研究開発課題は探索研究で終了となったが、研究開発は着実に進捗しており、今後の進展についても期待が持たれる。

以上